

ADHD 評価スケール：学校版

子どもの名前 _____ 性別： 男 女 年齢 _____ 学年 _____

記入者： _____

過去6ヵ月(または新学年の初頭から)における生徒の学校での行動を最もよく表している番号を○で囲んでください。

	ない もしくは ほとんどない	ときどき ある	しばしば ある	非常に しばしば ある
1. 学業において、綿密に注意することができない、または不注意な間違いをする。	0	1	2	3
2. 手足をそわそわと動かし、またはいすの上でもじもじする。	0	1	2	3
3. 課題または遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい。	0	1	2	3
4. 教室や、その他、座っていることを要求される状況で席を離れる。	0	1	2	3
5. 直接話しかけられたときに聞いていないように見える。	0	1	2	3
6. 不適切な状況で、余計に走り回ったり高い所へ上ったりする。	0	1	2	3
7. 指示に従えず、課題や任務をやり遂げることができない。	0	1	2	3
8. 静かに遊んだり余暇活動につくことができない。	0	1	2	3
9. 課題や活動を順序立てることが難しい。	0	1	2	3
10. 「じっとしていない」、またはまるで「エンジンで動かされているように」行動する。	0	1	2	3
11. (学業や宿題のような) 精神的努力の持続を要する課題を避ける。	0	1	2	3
12. しゃべりすぎる。	0	1	2	3
13. 課題や活動に必要なものをなくしてしまう。	0	1	2	3
14. 質問が終わる前に出し抜けて答え始めてしまう。	0	1	2	3
15. 気が散りやすい。	0	1	2	3
16. 順番を待つことが難しい。	0	1	2	3
17. 日々の活動で忘れっぽい。	0	1	2	3
18. 他人を妨害したり、邪魔をする。	0	1	2	3

ADHD Rating Scale-IV : Checklists, Norms, and Clinical Interpretation by George J. DuPaul, Thomas J. Power, Arthur D. Anastopoulos, and Robert Reid. Copyright 1998 by the authors.

【ADHD評価スケール】の個人的な使用のみを目的とする購入者には、本スケールの複写が許諾されます。ADHDの基準は許可を得てDSM-IVから引用しています。Copyright 1994 by the American Psychiatric Association.

※本スケールは、本書からの転載・複製・頒布、公衆送信はできません。利用については明石書店にお問い合わせ下さい。

(市川宏伸、田中康雄 監、坂本 律 訳：診断・対応のためのADHD評価スケール ADHD-RS (DSM 準拠) —チェックリスト、標準値とその臨床的解釈。東京、明石書店、2008より転載)